| 区分・種別 | 重要文化財(石造物) | | |
|---|---|---|---|
| 名　　称 | かめいはちまんじんじゃほうきょういんとう<br>亀井八幡神社宝篋印塔　　１基 | | |
| 所　在　地 | 越智郡上島町魚島 | | |
| 所　有　者 | 亀井八幡神社 | 管 理 団 体 | |
| 指定年月日 | 昭和29年3月20日 | | |
| 解　　説 | この宝篋印塔は、もともと亀井八幡神社左方の丘陵上（篠塚公園）に建てられていたが、のち現在地に移したといわれている。<br>２段の基壇上に立ち総高192cm、基壇を含めると238cmの花崗岩製である。地元では南北朝時代の武将篠塚伊賀守の墓として崇敬しているが、造立の沿革についての資料はなく不明である。<br>基礎には格狭間（こうざま）を３面に彫り、塔身には梵字（ぼんじ）が刻まれている。笠の四隅にある突起は一枚石で作られている。<br>保存状態はよく、基礎や笠の突起部にわずかな破損がみられる程度である。銘文は読解不能であるが、形式や手法など鎌倉時代末期の特色をよく表わしたものである。 | | |